

年 月 日

岐阜大学医学部附属病院で造影 CT 検査を受けられた患者さんへ

「造影剤自動注入器開発に係る基礎研究」への協力をお願い

放射線科では、過去に下記のような診療を受けた患者さんの情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2020 年 1 月 1 日～2023 年 12 月 31 日の間に、岐阜大学医学部附属病院において、造影 CT を受けられた患者さん

研究期間：研究機関の長の研究実施許可日～2026 年 12 月 31 日

研究目的・利用方法：

昨今の CT 装置の技術発展や撮像方法のバリエーション増加により、過去に定められた造影剤の投与方法が適切なのか不確定になりつつあります。

本研究の目的は、CT 装置及び造影剤自動注入器とで情報共有し、造影剤の注入状況や、取得画像の確認を自動で行うシステムを開発することです。現在の造影剤注入方法と画像上での造影剤の動向を把握することで、最新 CT 装置や様々な撮像プロトコルにおける造影剤の適正使用方法の模索や、個々の患者さんにあった造影剤の使用方法が模索できると考えています。

研究に用いる情報の項目：

日常診療の範囲で実施・取得される情報（詳細は下記）

造影 CT 画像およびそれに付帯する DICOM 情報

研究に用いる試料・情報の利用を開始する予定日：2024 年 1 月 31 日

外部への情報の提供：行わない

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究の内容や研究結果等について質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、代表機関である岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会において一括審査、承認され、研究科長・病院長の許可を得ております。各共同研究機関においても研究機関の長の許可を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

共同研究機関に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

研究代表者

岐阜大学大学院医学系研究科医科学専攻生体管理医学講座放射線医学分野

氏名：松尾政之

研究責任者

岐阜大学大学院医学系研究科医科学専攻生体管理医学講座放射線医学分野

氏名：松尾政之

共同研究機関等

根本杏林堂株式会社 氏名：吉川 明史、荒木 朋之

連絡先

岐阜大学医学部附属病院 放射線科

電話番号：058-230-6437

氏名：野田佳史

【苦情窓口】

岐阜大学医学系研究科・医学部 研究支援係

〒501-1194

岐阜県岐阜市柳戸 1 番 1

Tel：058-230-6059

E-mail：rinri@t.gifu-u.ac.jp